

平成29年 7月23日

一部ずつお取り下さい

高尾台町会「自主防災会」

高尾台町会長 川合 雅文

一家に一冊『防災かなざわ』配布のお知らせ

【家族で防災会議のお勧め】

今般、日本各地で様々な災害が発生しております。我が町会の下にも「森本一富樫」断層が走っており、決して他人ごとではありません。高尾台町会では自主防災会の規約が改正され、防災会の中に新組織「生きた自主防災（略称：IDPT）」が発足しました。（H29年度定例総会資料P33以下参照）これを機会に家族で「防災・減災」について会議を開いてみてはどうでしょうか？そこで、金沢市より発行されている小冊子『防災かなざわ』を簡単な参考書としてお配りします。簡単なチェックシートも下記につけますので、よろしければご利用ください。

1、地震発生時の行動

- 身を守る行動 家の中の安全な場所 非常脱出口の確保 外出時の対応

2、避難行動

- 非常持ち出し袋の準備（何をどれだけ、入れておくか、置き場所等）
*目安として発生後3日間を乗り越えられるように
- 一次指定避難場所 高尾台中央公園・的場公園（取りあえずの安全確保の避難場所）
- 指定避難場所 高尾台中学校（少し落ち着いたらここに避難して下さい）
- 拠点避難場所（物資、情報等ここに集まります）伏見台小学校

3、安否確認

- 家族間の緊急連絡方法の確認 情報のハブ（軸）となる人を決めておく
- 携帯等持っていない家族との連絡方法（地方の親族等の利用等）
- 子供の学校への迎えはいつ、誰がするのか
- メール、SNS、災害伝言ダイヤル【171】等の使い方
- 我が家の防災対応カードの作成、常時携帯

4、家の中の安全チェック

- 家具の転倒防止（特に就寝時に下敷きにならないよう）
- 家電、什器備品の落下防止のための対応
- 地震時ガラス等が家の中に散乱した場合の対応 脱出口の確認
- 火事の原因にならないような物の配置

5、その他

- 救急応急措置の知識 いざという時の近所の人との関係 火災発生時の対応
- 避難経路(動線)の確認 その他いろいろ話し合ってください。

自分の身は自分で守りましょう